

5年生 総合的な学習

5年1組 「5の1大好き 米・米粉 米マックス」

「米粉ってなんだろう。」町の米粉パン屋さんの看板を見て感じた疑問。今まで米粉という言葉すらも知らなかった子どもたち。米粉について調べるところから、単元が始まりました。

「米を細かく砕いた物が米粉。5年1組でまずおいしい米を作りたい。」という思いをもちました。米粉パン屋さんに、米粉を卸している新潟県長岡市の米農家さんを紹介していただき、田んぼの作り方や育て方を教えてもらいました。いざ、育ててみると水管理・スズメ対策など課題は山積み。

米農家さんの「みなさんが親になったとき、お子さんの世代にも米のおいしさを伝えてほしい。」という思いを知り、「クラスから学校、学校からまちへ、お米の大切さを伝えたい！」と、活動に拍車がかかってきました。米農家さんの思いを胸に、秋の収穫を今から楽しみにしているところです。



5年2組 「^{だいどうふ}大豆腐^{ファイブツ}パワーで5 2 めざせ達人！」

5年生になり、新たに家庭科が始まることから、子どもたちは家庭科と関連させて仲間の活動を行いたいと考えていました。「昨年の6年生みたいに自分たちが育てたものを給食に出したい。」「市販されている材料を使って調理をするのではなく、自分たちで一から作ってみたい。」「多くの人の手が入っているものをやりたい。」と加工食品の中から何を材にするか、まちたんけんをして決めることにしました。

パン屋、豆腐屋、和菓子屋、甘納豆屋に材料や加工の仕方をインタビューし、調べてきたことを話し合うと、パンと豆腐の二つが残りました。そこで、育て方や加工の仕方を調べる、「自分たちの力で一から作れるものは豆腐である。」と決めました。

「豆腐はどうやって作るのか。」「大豆はどうやって育てるのか。」「畑の肉と呼ばれる大豆にはどのくらい栄養があるのか。」「豆腐にはどんな種類があるのだろうか。」「木綿豆腐と絹ごし豆腐の違いはなんだろうか」など疑問が生まれ、仲間の活動が始まりました。今は、秋の収穫に向けて大切に大豆の世話を暑い日も欠かさずに行っています。



5年3組 「めざせ！ おはやしギャラクシー！」

昨年度、6年生から「お囃子を受け継いでほしい」というメッセージを受けとった子どもたちです。その思いを引き継ごうと、活動が始まりました。お囃子について調べてみると、日枝のまちにはお囃子という文化が消えかかっていること、お囃子は人から人へ「口伝」で受け継がれていくものであることなどを知りました。

「お囃子を教わりたい！」と、まちのお囃子の先生に出会い、お囃子の演奏方法を教わり、楽器を揃えることの大変さや「伝統」という言葉の重みに気づきました。しかし、何度も話を重ねる中で、大好きなまちの人に恩返しをするためにお囃子をしたいという思いに気づきました。その思いを受け、まちの先生が「日枝っ子囃子」を用意してくださいました。初めてのお囃子にどの子もウキウキしていました。

今は、「日枝っ子囃子でまちの人を笑顔にしたい」という願いをもち、まちの盆踊りやお祭りでの出演機会に向けて、練習に励んでいるところです。

